



2025年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年5月15日

上場会社名 A e r o E d g e株式会社 上場取引所 東
コード番号 7409 URL https://aeroedge.co.jp/
代 表 者 (役職名) 代表取締役社長兼執行役員CEO (氏名) 森西 淳
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員CFO (氏名) 今西 貴士 (TEL) 0284(22)3125
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期第3四半期の業績（2024年7月1日～2025年3月31日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第3四半期	2,776	15.8	599	31.9	534	10.0	457	9.1
2024年6月期第3四半期	2,398	12.4	454	14.9	485	△3.4	419	△29.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期第3四半期	119.39	107.21
2024年6月期第3四半期	110.29	97.26

(注) 2024年6月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社株式が、2023年7月4日付で東京証券取引所グロース市場に上場したため、新規上場日から2024年6月期第3四半期会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2025年6月期第3四半期	9,357		3,609		38.5
2024年6月期	7,236		3,094		42.7

(参考) 自己資本 2025年6月期第3四半期 3,605百万円 2024年6月期 3,089百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年6月期	—	0.00	—		
2025年6月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年6月期の業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,550	6.0	650	△7.9	560	△33.6	555	△20.6	144.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

通期業績予想の修正については、本日（2025年5月15日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2025年6月期3Q	3,842,379株	2024年6月期	3,827,130株
2025年6月期3Q	—株	2024年6月期	—株
2025年6月期3Q	3,834,748株	2024年6月期3Q	3,804,745株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査 : 無
法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、2025年5月15日(木)にTDnetで開示するとともに、当社ウェブサイト (<https://aeroedge.co.jp/>) にも掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間（2024年7月1日から2025年3月31日まで）における世界経済は、ウクライナ情勢の長期化や、中東での紛争を始めとする地政学リスク、インフレリスクやアメリカ新政権の政策による影響など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

航空業界では、旅客需要が新型コロナウイルス感染症前の水準を超えるとともに、更に拡大することが見込まれており、エアラインにおいては、機体発注拡大などの動きが見られるとともに、航空機メーカーにおいては、中小型航空機を中心とした受注機数残高が高水準で推移しております。そのため、当社の主力製品であるチタンアルミ製の低圧タービンブレードを搭載したLEAPエンジンを採用する、中小型航空機の仏Airbus社製A320neoファミリー、米Boeing社製737MAXは、高水準の受注機数残高に対応するため、生産体制の増強を目指しております。また、2023年に初の商業飛行を中国国内で実施し、同じくLEAPエンジンを採用する中COMAC社製C919も、受注を拡大させております。

＜LEAPエンジンが搭載される航空機の受注機数残高及び引渡機数（単位：機）＞

	受注機数残高	引渡機数	
	2025年3月末	2024年1月～12月	2025年1月～3月
仏Airbus社製 A320neoファミリー	7,328	602	106
米Boeing社製 737MAX	5,316	260	104
中COMAC社製 C919	951	13	3

（出所：一般財団法人日本航空機開発協会）

そうした中、当社は中長期的な事業拡大が期待できるLEAPエンジン向けチタンアルミブレード市場における安定的な事業基盤を構築するため、仏SAFRAN社と締結しているチタンアルミブレードの供給契約を更新しました。これにより、供給期間は2027年から2034年まで7年間の延長、マーケットシェアは35%から40%に拡大いたしました。

一方で、仏Airbus社においては、新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢を発端としたサプライチェーンの毀損や人手不足の影響の顕在化により、生産拡大にやや遅延が見られております。米Boeing社においては、サプライチェーンの毀損や人手不足の影響に加え、品質問題により生産量が低迷しており、また、2024年9月に発生したストライキにより一時的な生産停止を余儀なくされました。

そうした環境下ではありましたが、当第3四半期累計期間の当社の販売したチタンアルミブレードが搭載されるエンジン基数（チタンアルミブレード販売枚数÷LEAPエンジン1基当たりのチタンアルミブレード搭載枚数）は、485基と前年同期から15.2%増加いたしました。A320neoファミリー、737MAX、及びC919ともに、受注機数残高は高水準を維持しており、航空業界でのサプライチェーンの毀損や人手不足の解消等が進めば、チタンアルミブレードの販売は更に拡大していくと考えられることから、当社は、引き続き、生産性・収益性の向上に取り組んでまいりました。

新規量産案件への取り組みに関しては、現在、2024年6月に竣工した新工場で生産予定の航空機エンジン部品の量産体制構築を推進しました。また、新たにグローバル大手航空機関連メーカーと部品供給に関する長期契約を締結し、来期からの販売に向けて量産開発を開始しました。研究開発への取り組みに関しては、材料供給元1社依存からの脱却に向けた新材料の開発について、顧客から一定の評価を獲得できたことから、技術開発に加えて、量産に向けた開発も強化いたしました。一方で、これらの新規量産案件並びに開発案件を実現するために、人員採用、設備投資を含めた先行投資を積極化した結果、各種費用が増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高2,776,955千円（前年同期比15.8%増）、営業利益599,890千円（前年同期比31.9%増）となりました。経常利益に関しては、営業外費用としてシンジケートローン組成に関わる手数料や為替差損等が発生しましたが、534,487千円（前年同期比10.0%増）となり、四半期純利益は、457,849千円（前年同期比9.1%増）となりました。

なお、当社は、単一セグメントのため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産の残高は、9,357,322千円であり、前事業年度末に比べ2,120,341千円増加いたしました。この主な要因は、現金及び預金の増加573,498千円、有形固定資産の増加1,318,810千円があったことによるものであります。

現金及び預金が増加した主な要因は、シンジケートローンによるリファイナンスを実施したことによるものであり、有形固定資産が増加した主な理由は、チタンアルミブレード以外の航空機エンジン部品の量産のための設備投資によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債の残高は、5,747,610千円であり、前事業年度末に比べ1,604,710千円増加いたしました。この主な要因は、未払法人税等の減少154,837千円があった一方で、設備投資等に伴う未払金の増加719,441千円、シンジケートローンによるリファイナンスを実施したことで、長期借入金（1年内返済予定分含む）の増加631,753千円があったことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、3,609,712千円であり、前事業年度末に比べ515,631千円増加いたしました。この主な要因は、四半期純利益の計上457,849千円があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月期通期業績予想につきましては、2025年2月14日公表の業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日（2025年5月15日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、当該業績予想は現時点での情報をもとにしており、今後、業績動向の変化を与える事象が生じた場合等には業績予想を変更する場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,813,651	2,387,149
売掛金	531,591	740,521
電子記録債権	—	2,179
製品	54,659	56,062
仕掛品	120,940	181,631
貯蔵品	141,344	194,477
前払費用	38,938	41,303
その他	432,600	364,784
流動資産合計	3,133,726	3,968,109
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,028,794	996,840
機械及び装置（純額）	528,574	488,227
土地	358,627	358,627
リース資産（純額）	299,313	201,193
建設仮勘定	1,694,405	3,192,726
その他（純額）	54,391	45,302
有形固定資産合計	3,964,106	5,282,917
無形固定資産		
その他	31,680	20,880
無形固定資産合計	31,680	20,880
投資その他の資産		
繰延税金資産	84,030	69,422
その他	23,437	15,992
投資その他の資産合計	107,467	85,415
固定資産合計	4,103,254	5,389,213
資産合計	7,236,980	9,357,322

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	79,349	108,915
1年内返済予定の長期借入金	402,047	200,000
リース債務	185,353	187,220
未払金	451,423	1,170,864
未払費用	5,178	5,191
未払法人税等	171,921	17,083
預り金	19,973	3,877
賞与引当金	—	42,653
その他	57,629	536,721
流動負債合計	1,372,876	2,272,527
固定負債		
長期借入金	2,366,200	3,200,000
リース債務	244,236	103,757
退職給付引当金	21,197	16,924
役員退職慰労引当金	138,205	—
その他	183	154,400
固定負債合計	2,770,023	3,475,082
負債合計	4,142,899	5,747,610
純資産の部		
株主資本		
資本金	482,443	494,704
資本剰余金	1,268,265	1,280,526
利益剰余金	1,371,775	1,829,625
株主資本合計	3,122,484	3,604,856
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△32,725	560
評価・換算差額等合計	△32,725	560
新株予約権	4,322	4,295
純資産合計	3,094,081	3,609,712
負債純資産合計	7,236,980	9,357,322

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
売上高	2,398,031	2,776,955
売上原価	1,361,809	1,431,307
売上総利益	1,036,221	1,345,647
販売費及び一般管理費	581,580	745,757
営業利益	454,640	599,890
営業外収益		
受取利息	38	1,127
補助金収入	39,309	19,650
為替差益	32,612	—
その他	1,848	1,271
営業外収益合計	73,809	22,048
営業外費用		
支払利息	28,930	35,242
為替差損	—	26,080
シンジケートローン手数料	—	22,070
上場関連費用	10,815	—
その他	2,751	4,059
営業外費用合計	42,497	87,451
経常利益	485,952	534,487
特別損失		
固定資産除売却損	82	1,047
特別損失合計	82	1,047
税引前四半期純利益	485,870	533,440
法人税等	66,231	75,590
四半期純利益	419,638	457,849

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の処理)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、加工事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	311,246千円	286,049千円